

---

## 三二劇場「河野夜兎」

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ミニ劇場「河野夜兔」

### 【コード】

N0655N

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

短いやつです。原稿用紙一枚分。まあ河野夜兔にする必然性はないねえ。

河野夜兔は、「小説家になろう」という無料投稿サイトで書いている。

河野の趣味は盗聴である。小説のネタにしようってわけ。

今日も彼氏の部屋に盗聴器を仕掛けておいた。浮気対策はバツチリだ。

河野は、家に帰り、彼氏の部屋の様子を聴いてみた。

テレビの音が聴こえる。それから、ちゆるちゆるちゆるという音。夏だから冷やし中華でも食べているのか。

あ。笑い声。お笑い番組でもやってるのかな。あ。屁の音。こきやがったな。

あ。電話鳴った。彼女であるあたしが帰ったあとに怪しい。

「はい。はい。部長に言われた資料きちんと書き直しましたよ。はい。明日の会議には間に合うと思います。はい」

なんだ。仕事の話か。つまらん。女じゃないのか。

あ。チャイム鳴った。まさか、女。

「新聞屋です。集金です」

なんだ。違うのか。つまらん。

「みゃあ」

あ。彼氏が飼ってる猫のみーちゃんの声。

「ちゆるちゆるちゆる。みーちゃんも食べるかい？」

「みゃあ」

まだ冷やし中華食ってる。もうそれはええねん。

あ。テレビの音なくなった。

がさごそ。あ。布団に入ったな。

ぱち。電気消した。

「ぐーすーぴー」

まだ九時だぞ。

河野は、「こいつとは別ねよう」と思った。ぜんぜん面白くない。退屈する。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0655n/>

---

ミニ劇場「河野夜兎」

2011年1月16日01時18分発行